

## (2) 今期の景況と来期の見通し

### 製 造 業

#### 業況・売上額・受注残・収益

製造業の主要指標をみると、業況は $\Delta 8.7$ で前期比4.0ポイント減とやや厳しさが強まった。売上額は $\Delta 4.7$ で2.3ポイント減、収益は $\Delta 6.1$ で前期比2.4ポイント減とやや減少・減益幅が拡大し、受注残は $\Delta 5.3$ で5.1ポイント減とやや減少幅が拡大した。来期の見通しについては、業況はやや厳しさが強まり、売上額、受注残はやや減少幅が拡大し、収益は今期同様の減益幅で推移する見込み。

業種別でみると、業況は、「金属製品・建設用金属製品」は大きく厳しさが強まり、「一般機械器具・金型」は極端に好調感が後退し、「電気機械器具」はやや厳しさが強まった。売上額は、「金属製品・建設用金属製品」は大きく増加幅が拡大し、「一般機械器具・金型」は大幅に悪化し増加から減少に転じ、「電気機械器具」はやや減少幅が縮小した。受注残は、「金属製品・建設用金属製品」は前期同様の増加幅で推移し、「一般機械器具・金型」は大幅に悪化し増加から減少に転じ、「電気機械器具」も増加から減少に転じた。収益は、「金属製品・建設用金属製品」は前期同様の増益幅で推移し、「一般機械器具・金型」は極端に増益幅が減少し、「電気機械器具」はやや減益幅が拡大した。

#### 価格・在庫動向

価格動向については、販売価格は $\Delta 2.8$ で0.7ポイント減と前期同様の下降水準で推移し、原材料価格は16.4で4.0ポイント増とやや上昇が強まった。在庫は $\Delta 0.8$ で2.9ポイント増と品薄から適正範囲に転じた。来期の見通しについては、販売価格はやや下降が弱まり、原材料価格は今期同様の上昇傾向で推移する見込み。在庫は今期同様の適正範囲で推移する見通し。

業種別でみると、販売価格は、「金属製品・建設用金属製品」はやや下降が強まり、「一般機械器具・金型」は大きく上昇が弱まり、「電気機械器具」は前期同様の下降傾向で推移した。原材料価格は、「金属製品・建設用金属製品」、「一般機械器具・金型」、「電気機械器具」はともにやや上昇が強まった。在庫は、「金属製品・建設用金属製品」は大きく品薄感が改善し、「一般機械器具・金型」は適正範囲から過剰に転じ、「電気機械器具」はやや過剰感が強まった。

#### 資金繰り・借入金・設備投資動向

資金繰りは $\Delta 17.5$ で3.0ポイント減、借入難易度は $\Delta 3.1$ で1.6ポイント減とやや窮屈感が強まった。

借入をした企業は15.0%で1.5ポイント減少した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は12.5%で0.2ポイント減少した。来期の見通しについては、資金繰りは今期同様の窮屈感で推移し、借入をする企業は大きく減少する見込み。また設備投資を実施する企業は今期同様の見通し。

業種別でみると、資金繰りは、「金属製品・建設用金属製品」はやや窮屈感が弱まり、「一般機械器具・金型」は大きく容易さが弱まり、「電気機械器具」はやや窮屈感が弱まった。借入難易度は、「金属製品・建設用金属製品」は大きく容易さが強まり、「一般機械器具・金型」はやや容易さが弱まり、「電気機械器具」は極端に厳しさが和らぎ一気に容易に転じた。今期借入をした企業は、「金属製品・建設用金属製品」は前期同様の水準で推移し、「一般機械器具・金型」は極端に減少し、「電気機械器具」はやや減少した。設備投資を実施した企業は、「金属製品・建設用金属製品」、「一般機械器具・金型」は大きく減少し、「電気機械器具」

は前期同様の水準で推移した。

## 経営上の問題点・重点経営施策

経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」で42.5%となった。次いで2位は「同業者間の競争の激化」で28.8%、3位は「工場・機械の狭小・老朽化」「原材料高」が同率で13.8%となった。以下、4位は「人手不足」で12.5%、5位は「利幅の縮小」で11.3%と続いた。

重点経営施策では、1位は「販路を広げる」で50.0%となった。次いで2位は「経費を節減する」で41.3%、3位は「人材を確保する」で12.5%となった。以下、4位は「新製品・技術を開発する」で7.5%、5位は「教育訓練を強化する」で6.3%と続いた。

## 業種別動向

### (1) 金属製品、建設用金属製品

業況は△7.7で前期比6.9ポイント減と大きく厳しさが強まった。売上額は22.1で18.1ポイント増と大幅に増加幅が拡大し、受注残は9.0で0.7ポイント減と前期同様の増加幅で推移し、収益は3.5で0.1ポイント増と前期同様の増益幅で推移した。

価格動向については、販売価格は△7.6で1.7ポイント減とやや下降が強まり、原材料価格は13.1で2.5ポイント増とやや上昇が強まった。在庫は△2.2で7.4ポイント増と大きく品薄感が改善した。資金繰りは△0.3で5.4ポイント増とやや厳しさが弱まり、借入難易度は11.1で11.1ポイント増と大きく容易さが強まった。借入をした企業は8.3%で0.6ポイント増加した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は8.3%で7.1ポイント減少した。

来期の見通しについては、業況は大きく厳しさが強まる見込み。売上額は大きく増加幅が縮小し、受注残は今期同様の増加幅で推移し、収益は大幅に悪化し増益から減益に転じる見通し。販売価格はやや下降が弱まり、原材料価格はやや上昇が強まると見込まれる。在庫は今期同様の品薄感で推移し、資金繰りは今期同様の水準で推移する見通し。設備投資をする企業は大きく減少するとみられる。

経営上の問題点については、1位は「売上の停滞・減少」「原材料高」が同率で25.0%、2位は「同業者間の競争の激化」「工場・機械の狭小・老朽化」が同率で16.7%、3位は「親企業による選別の強化」「輸入製品との競争の激化」「合理化の不足」「利幅の縮小」「仕入先からの値上げ要請」が同率で8.3%となった。重点経営施策については、1位は「経費を節減する」で41.7%、2位は「販路を広げる」で25.0%、3位は「不採算部門を整理・縮小する」「人材を確保する」が同率で8.3%となった。

### (2) 一般機械器具、金型

業況は3.0で前期比25.3ポイント減と極端に好調感が後退した。売上額は△4.3で18.4ポイント減、受注残は△6.4で15.6ポイント減と大幅に悪化し増加から減少に転じ、収益は1.1で22.8ポイント減と極端に増益幅が縮小した。

価格動向については、販売価格は2.8で10.1ポイント減と大きく上昇が弱まり、原材料価格は11.1で1.5ポイント増とやや上昇が強まった。在庫は3.3で2.8ポイント増と適正範囲から過剰に転じた。資金繰りは3.9で5.7ポイント減と大きく容易さが弱まり、借入難易度は20.0で5.0ポイント減とやや容易さが弱まった。借入をした企業は7.7%で19.6ポイント減少した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は0.0%で9.1ポイント減少した。

来期の見通しについては、業況は今期同様の水準で推移する見込み。売上額、受注残は減少から増加に転じ、収益はやや増益幅が拡大する見通し。販売価格は大きく上昇が強まり、原材料価格は今期同様の上昇傾向で推移するとみられる。在庫は今期同様の過剰感で推移し、資金繰りはやや容易さが強まる見通し。設備

投資をする企業は今期同様の水準で推移するとみられる。

経営上の問題点については、1位は「売上の停滞・減少」で38.5%、2位は「同業者間の競争の激化」で23.1%、3位は「人手不足」「利幅の縮小」「原材料高」「工場・機械の狭小・老朽化」が同率で15.4%となった。重点経営施策については、1位は「販路を広げる」で38.5%、2位は「経費を節減する」で30.8%、3位は「新製品・技術を開発する」「提携先を見つける」「人材を確保する」「教育訓練を強化する」が同率で7.7%となった。

### (3) 電気機械器具

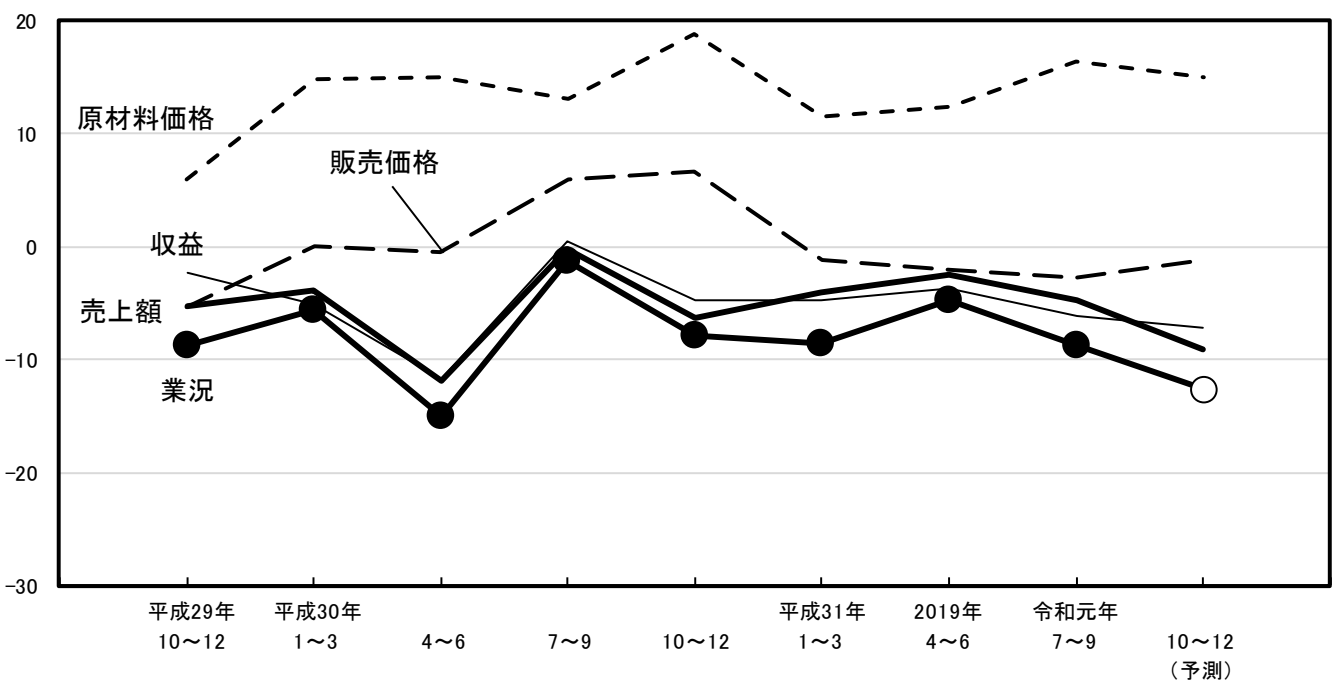
業況は△16.3で前期比1.6ポイント減とやや厳しさが強まった。売上額は△9.6で2.5ポイント増とやや減少幅が縮小し、受注残は△8.5で9.6ポイント減と増加から減少に転じ、収益は△13.0で4.8ポイント減とやや減益幅が拡大した。

価格動向については、販売価格は△9.0で1.0ポイント減と前期同様の下降傾向で推移し、原材料価格は23.1で3.1ポイント増とやや上昇が強まった。在庫は10.6で4.8ポイント増とやや過剰感が強まった。資金繰りは△5.7で3.5ポイント増とやや窮屈感が弱まり、借入難易度は12.5で22.5ポイント増と極端に厳しさが和らぎ一気に容易に転じた。借入をした企業は50.0%で4.5ポイント減少し、設備投資動向については、設備投資を実施した企業は10.0%で0.9ポイント増加した。

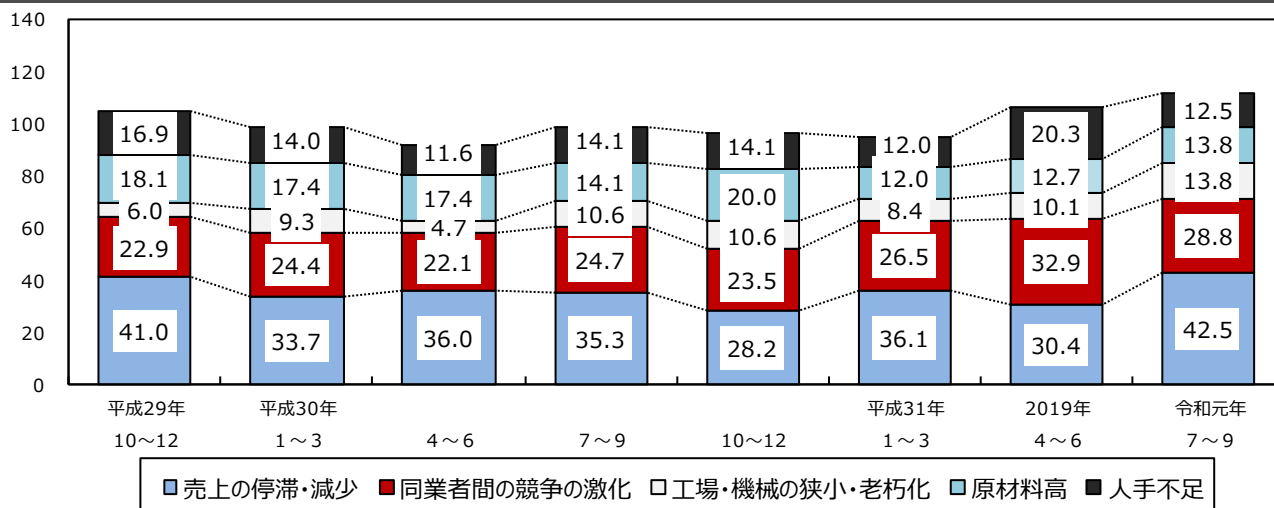
来期の見通しについては、業況は大きく厳しさが強まる見込み。売上額はやや減少幅が縮小し、収益はやや減益幅が拡大し、受注残は大きく減少幅が拡大する見通し。販売価格は今期同様の下降傾向で推移し、原材料価格は大きく上昇が弱まる見通し。在庫は今期同様の過剰感で推移し、資金繰りはやや窮屈感が強まる見通し。設備投資を実施する企業は大きく減少するとみられる。

経営上の問題点については、1位は「売上の停滞・減少」で60.0%、2位は「人手不足」で30.0%、3位は「大手企業との競争の激化」「同業者間の競争の激化」「利幅の縮小」「人件費の増加」「工場・機械の狭小・老朽化」「生産能力の不足」が同率で10.0%となった。重点経営施策については、1位は「経費を節減する」で50.0%、2位は「販路を広げる」「人材を確保する」が同率で40.0%、3位は「パート化を図る」で20.0%となった。

業況と売上額、収益、販売価格、原材料価格の動き（実績）と来期の予測

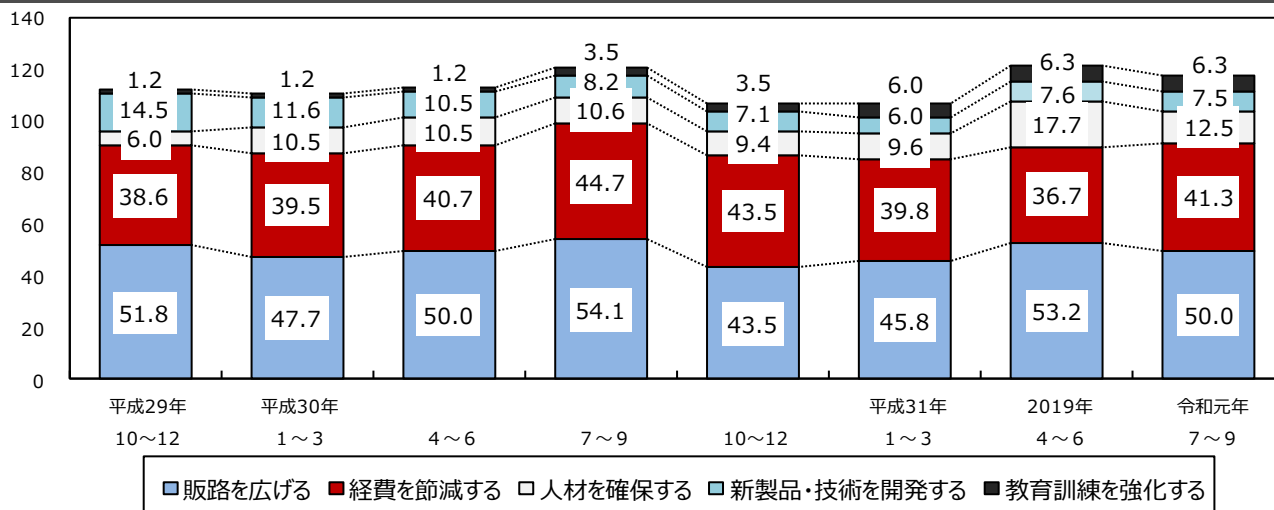


## 製造業 経営上の問題点（％）



	平成30年10～12月期	平成31年1～3月期	2019年4～6月期	令和元年7～9月期
第1位	売上停滞・減少 28.2 %	売上停滞・減少 36.1 %	同業者間の競争の激化 32.9 %	売上停滞・減少 42.5 %
第2位	同業者間の競争の激化 23.5 %	同業者間の競争の激化 26.5 %	売上停滞・減少 30.4 %	同業者間の競争の激化 28.8 %
第3位	原材料高 20.0 %	原材料高 12.0 %	人手不足 20.3 %	工場・機械の狭小・老朽化 13.8 %
		人手不足 12.0 %		原材料高 13.8 %
第4位	利幅の縮小 15.3 %	利幅の縮小 10.8 %	利幅の縮小 16.5 %	人手不足 12.5 %
第5位	人手不足 14.1 %	工場・機械の狭小・老朽化 8.4 %	原材料高 12.7 %	利幅の縮小 11.3 %

## 製造業 重点経営施策（％）



	平成30年10～12月期	平成31年1～3月期	2019年4～6月期	令和元年7～9月期
第1位	販路を広げる 43.5 %	販路を広げる 45.8 %	販路を広げる 53.2 %	販路を広げる 50.0 %
	経費を節減する 43.5 %			
第2位	情報力を強化する 12.9 %	経費を節減する 39.8 %	経費を節減する 36.7 %	経費を節減する 41.3 %
第3位	人材を確保する 9.4 %	情報力を強化する 10.8 %	人材を確保する 17.7 %	人材を確保する 12.5 %
第4位	新製品・技術を開発する 7.1 %	人材を確保する 9.6 %	情報力を強化する 13.9 %	新製品・技術を開発する 7.5 %
第5位	提携先を見つける 4.7 %	新製品・技術を開発する 6.0 %	新製品・技術を開発する 7.6 %	教育訓練を強化する 6.3 %
	機械化を推進する 4.7 %	教育訓練を強化する 6.0 %		
		提携先を見つける 6.0 %		

# 卸 売 業

## 業況・売上額・収益

卸売業の主要指標をみると、業況は $\Delta 15.1$ で前期比6.7ポイント減と大きく厳しさが強まった。売上額は $\Delta 0.5$ で2.5ポイント増とやや減少幅が縮小し、収益は3.9で9.8ポイント増と減益から増益に転じた。来期の見通しについては、業況はやや厳しさが和らぎ、売上額はやや減少幅が拡大し、収益は今期同様の増益幅で推移する見込み。

## 価格・在庫動向

価格動向については、販売価格は11.7で12.0ポイント増と大きく下降から上昇に転じ、仕入価格は27.2で16.8ポイント増と大幅に上昇が強まった。在庫は3.5で2.2ポイント増と適正範囲から過剰に転じた。来期の見通しについては、販売価格は今期同様の上昇傾向で推移し、仕入価格はやや上昇が弱まる見通し。在庫は過剰から品薄に転じる見込み。

## 資金繰り・借入金・設備投資動向

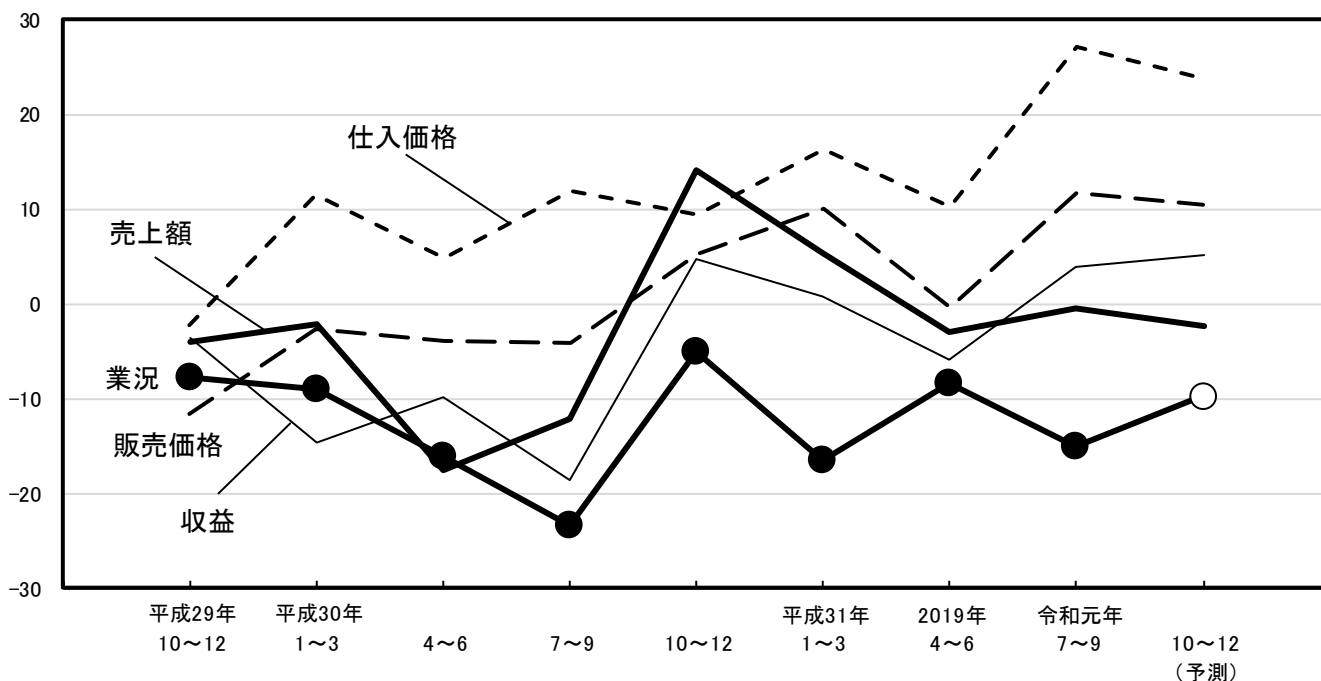
資金繰りは $\Delta 5.6$ で4.3ポイント増とやや窮屈感が弱まり、借入難易度は10.0で5.6ポイント増と大きく容易さが強まった。借入をした企業は16.7%で12.5ポイント減少した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は4.3%と12.4ポイント減少した。来期の見通しについては、資金繰りは今期同様の窮屈感で推移し、借入をする企業も今期同様の水準で、設備投資をする企業はやや増加する見込み。

## 経営上の問題点・重点経営施策

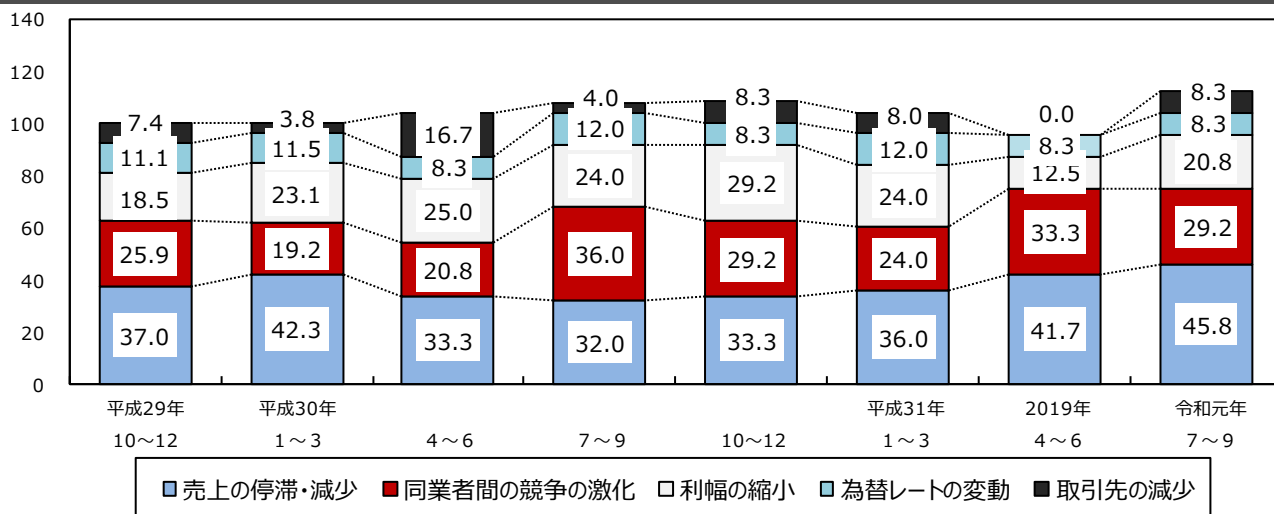
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」で45.8%となった。次いで2位は「同業者間の競争の激化」で29.2%、3位は「利幅の縮小」で20.8%となった。以下、4位は「為替レートの変動」「取引先の減少」「人手不足」が同率で8.3%、5位は「合理化の不足」「販売商品の不足」「販売納入先からの値下げ要請」「仕入先からの値上げ要請」「人件費の増加」「人件費以外の経費の増加」「天候の不順」が同率で4.2%と続いた。

重点経営施策は、1位は「経費を節減する」で58.3%となった。次いで2位は「販路を広げる」で54.2%、3位は「品揃えを充実する」で25.0%となった。以下、4位は「情報力を強化する」で16.7%、5位は「提携先を見つける」で8.3%と続いた。

業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測

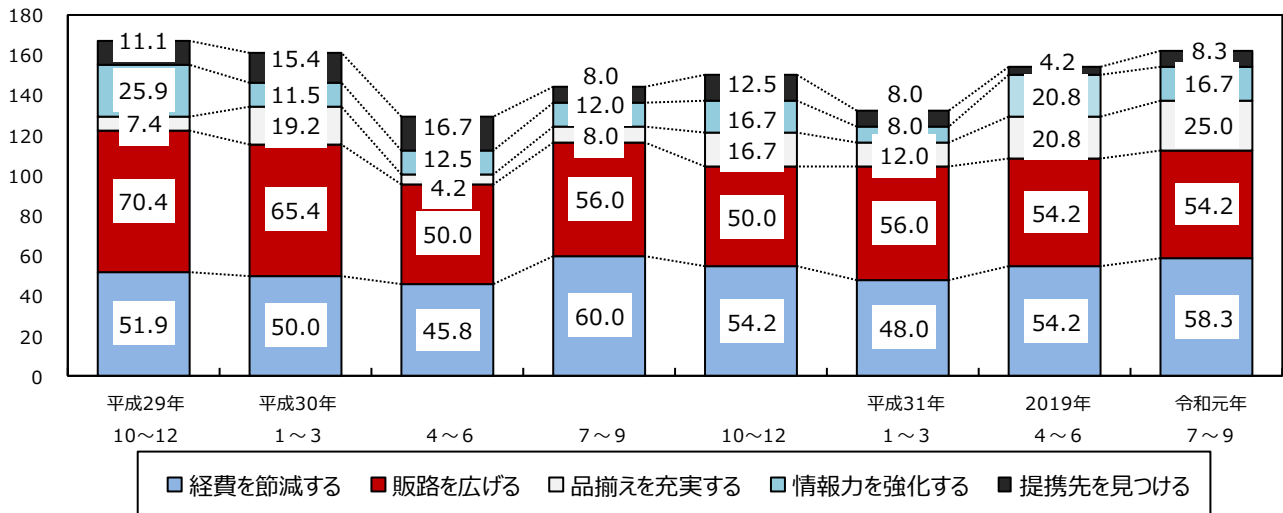


卸売業 経営上の問題点（％）



	平成30年10~12月期		平成31年1~3月期		2019年4~6月期		令和元年7~9月期	
第1位	売上の停滞・減少	33.3 %	売上の停滞・減少	36.0 %	売上の停滞・減少	41.7 %	売上の停滞・減少	45.8 %
第2位	同業者間の競争の激化	29.2 %	同業者間の競争の激化	24.0 %	同業者間の競争の激化	33.3 %	同業者間の競争の激化	29.2 %
	利幅の縮小	29.2 %	利幅の縮小	24.0 %				
第3位	人手不足	25.0 %	人手不足	16.0 %	人手不足	20.8 %	利幅の縮小	20.8 %
第4位	為替レートの変動	8.3 %	為替レートの変動	12.0 %	利幅の縮小	12.5 %	為替レートの変動	8.3 %
	取引先の減少	8.3 %					取引先の減少	8.3 %
第5位	仕入先からの値上げ要請	4.2 %	取引先の減少	8.0 %	為替レートの変動	8.3 %	合理化の不足	4.2 %
	人件費の増加	4.2 %			販売納入先からの値下げ要請	8.3 %	販売商品の不足	4.2 %
	小口注文・多頻度配送の増加	4.2 %			仕入先からの値上げ要請	8.3 %	販売納入先からの値下げ要請	4.2 %
	天候の不順	4.2 %					仕入先からの値上げ要請	4.2 %
	販売商品の不足	4.2 %					人件費の増加	4.2 %
							人件費以外の経費の増加	4.2 %
							天候の不順	4.2 %

## 卸売業 重点経営施策（％）



	平成30年10～12月期		平成31年1～3月期		2019年4～6月期		令和元年7～9月期	
第1位	経費を節減する	54.2 %	販路を広げる	56.0 %	経費を節減する	54.2 %	経費を節減する	58.3 %
第2位	販路を広げる	50.0 %	経費を節減する	48.0 %	品揃えを充実する	20.8 %	販路を広げる	54.2 %
第3位	人材を確保する	20.8 %	品揃えを充実する	12.0 %	人材を確保する	16.7 %	品揃えを充実する	25.0 %
第4位	情報力を強化する	16.7 %	情報力を強化する	8.0 %	機械化を推進する	8.3 %	情報力を強化する	16.7 %
	品揃えを充実する	16.7 %	人材を確保する	8.0 %				
			機械化を推進する	8.0 %				
			提携先を見つける	8.0 %				
第5位	提携先を見つける	12.5 %	取引先を支援する	4.0 %	提携先を見つける	4.2 %	提携先を見つける	8.3 %

## 小 売 業

### 業況・売上額・収益

小売業の主要指標をみると、業況は $\Delta 10.8$ で前期比3.9ポイント増とやや厳しさが和らいだ。売上額は $\Delta 0.7$ で11.0ポイント増と大きく減少幅が縮小し、収益は $\Delta 4.2$ で4.9ポイント増とやや減少幅が縮小した。来期の見通しについては、業況はやや厳しさが和らぎ、売上額、収益はやや減少幅・減益幅が拡大する見込み。

### 価格・在庫動向

価格動向については、販売価格は0.1で4.7ポイント減とやや上昇が弱まり、仕入価格は7.0で10.9ポイント減と大きく上昇が弱まった。在庫は $\Delta 0.2$ で3.4ポイント減と過剰から適正範囲に転じた。来期の見通しについては、販売価格、仕入価格は大きく上昇が強まり、在庫は適正範囲を保つ見込み。

### 資金繰り・借入金・設備投資動向

資金繰りは $\Delta 11.5$ で0.3ポイント増と前期同様の窮屈感で推移し、借入難易度は0.0で6.6ポイント増と窮屈感を脱した。借入をした企業は18.9%で5.4ポイント増加した。設備投資動向については、設備投資をした企業は5.4%で0.2ポイント減少した。来期の見通しについては、資金繰りはやや厳しさが強まり、借入をする企業はやや減少し、設備投資をする企業は今期同様の水準で推移する見込み。

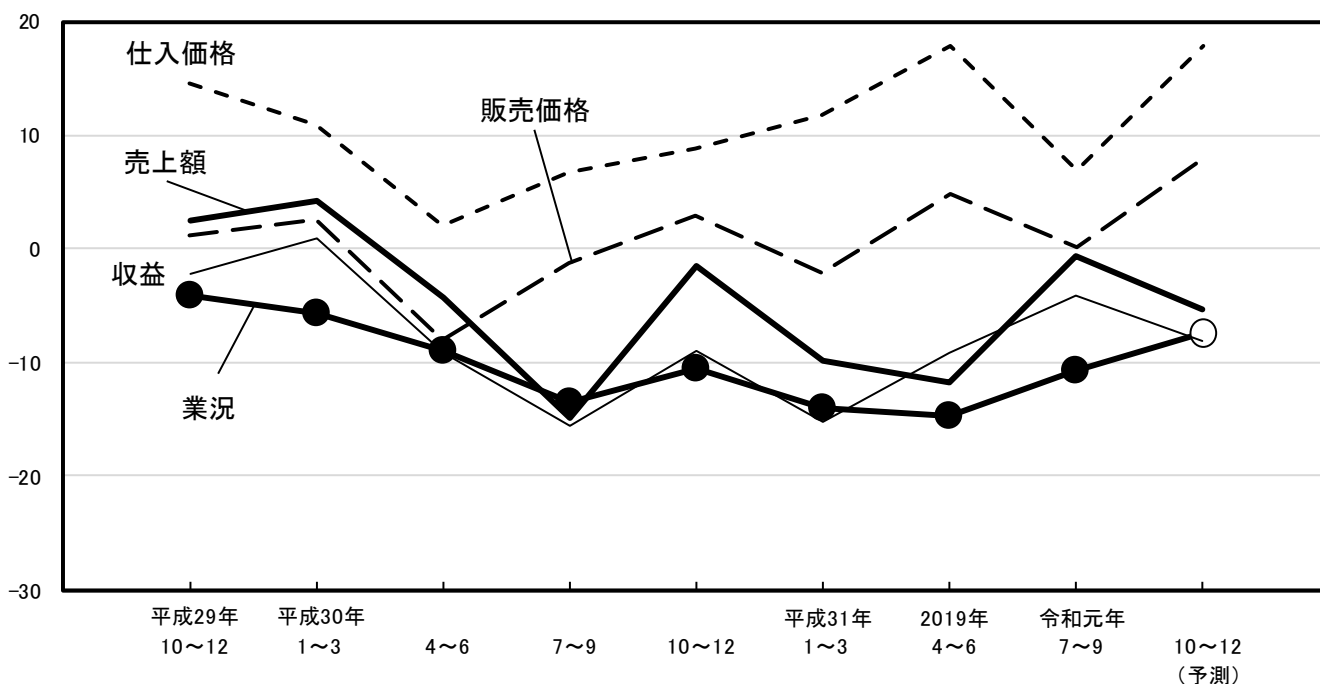
### 経営上の問題点・重点経営施策

経営上の問題点については、1位は「売上の停滞・減少」で27.0%となった。次いで2位は「商店街の集客力の低下」で24.3%、3位は「天候の不順」「大型店との競争の激化」が同率で18.9%となった。以下、4位は「人手不足」で16.2%、5位は「利幅の縮小」で13.5%と続いた。

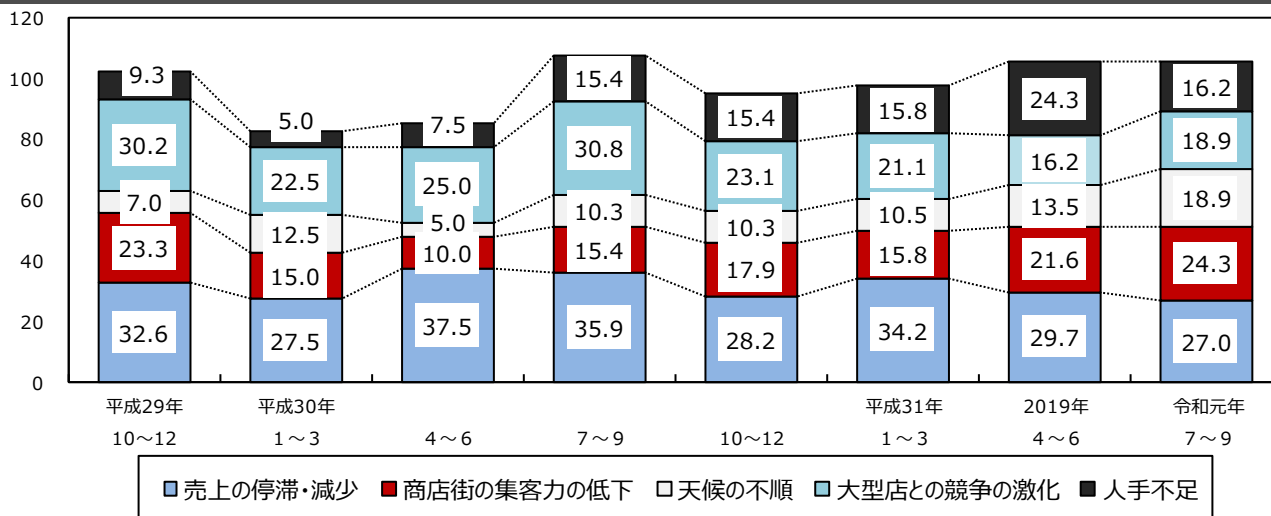
重点経営施策では、1位は「経費を節減する」で40.5%となった。次いで2位は「品揃えを改善する」で29.7%、3位は「宣伝・広告を強化する」で21.6%となった。以下、4位は「売れ筋商品を取り扱う」で18.9%、5位は「商店街事業を活性化させる」で16.2%と続いた。



業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測

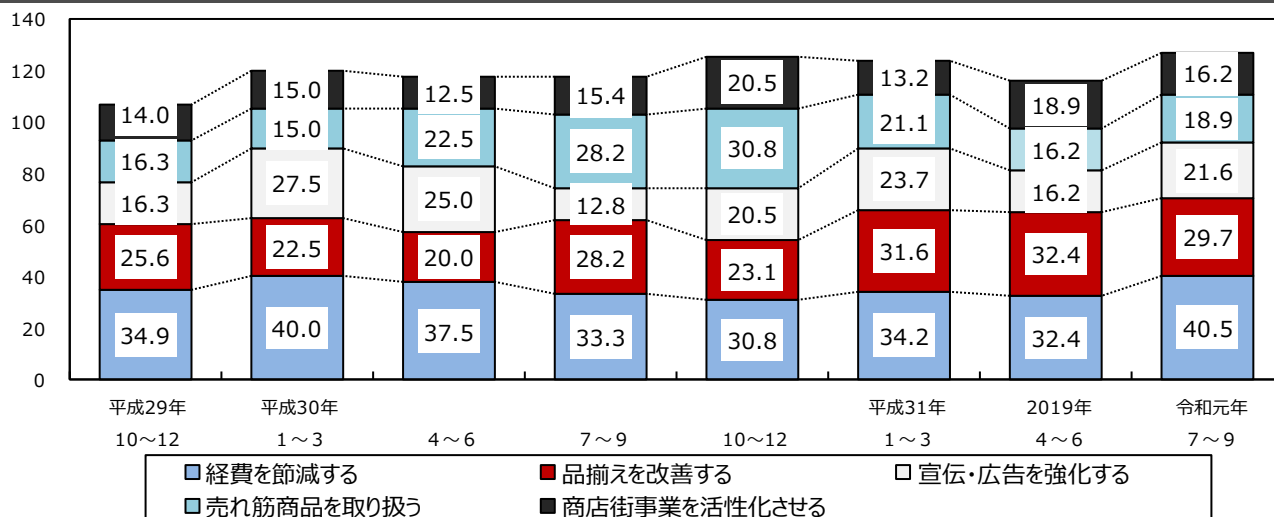


小売業 経営上の問題点（％）



	平成30年10~12月期	平成31年1~3月期	2019年4~6月期	令和元年7~9月期
第1位	売上の停滞・減少 28.2 %	売上の停滞・減少 34.2 %	売上の停滞・減少 29.7 %	売上の停滞・減少 27.0 %
第2位	大型店との競争の激化 23.1 %	大型店との競争の激化 21.1 %	人手不足 24.3 %	商店街の集客力の低下 24.3 %
第3位	商店街の集客力の低下 17.9 %	商店街の集客力の低下 15.8 %	商店街の集客力の低下 21.6 %	天候の不順 18.9 %
		人手不足 15.8 %		大型店との競争の激化 18.9 %
第4位	人手不足 15.4 %	同業者間の競争の激化 13.2 %	大型店との競争の激化 16.2 %	人手不足 16.2 %
		利幅の縮小 13.2 %		
第5位	同業者間の競争の激化 12.8 %	天候の不順 10.5 %	天候の不順 13.5 %	利幅の縮小 13.5 %

## 小 売 業 重 点 経 営 施 策 ( % )



	平成30年10~12月期		平成31年1~3月期		2019年4~6月期		令和元年7~9月期	
第1位	経費を節減する	30.8 %	経費を節減する	34.2 %	経費を節減する	32.4 %	経費を節減する	40.5 %
	売れ筋商品を取り扱う	30.8 %			品揃えを改善する	32.4 %		
第2位			品揃えを改善する	31.6 %	商店街事業を活性化させる	18.9 %	品揃えを改善する	29.7 %
					仕入先を開拓・選別する	18.9 %		
第3位	商店街事業を活性化させる	20.5 %	宣伝・広告を強化する	23.7 %	売れ筋商品を取り扱う	16.2 %	宣伝・広告を強化する	21.6 %
	宣伝・広告を強化する	20.5 %			宣伝・広告を強化する	16.2 %		
第4位	仕入先を開拓・選別する	17.9 %	売れ筋商品を取り扱う	21.1 %	人材を確保する	13.5 %	売れ筋商品を取り扱う	18.9 %
第5位	人材を確保する	7.7 %	商店街事業を活性化させる	13.2 %	新しい事業を始める	5.4 %	商店街事業を活性化させる	16.2 %
			仕入先を開拓・選別する	13.2 %	店舗・設備を改装する	5.4 %		

## サービス業

### 業況・売上額・収益

サービス業の主要指標をみると、業況は $\Delta 1.7$ で前期比12.6ポイント増と大きく厳しさが和らいだ。売上額は $\Delta 3.9$ で0.8ポイント減と前期並みの減少幅で推移し、収益は $\Delta 5.3$ で6.5ポイント増と大きく減益幅が縮小した。来期の見通しについては、業況は今年同様の厳しさが続き、売上額も今年同様の減少幅で推移するが、収益はやや減益幅が縮小する見込み。

### 価格・在庫動向

価格動向については、料金価格は2.4で7.1ポイント増と下降から上昇に転じ、材料価格は14.8で3.9ポイント増とやや上昇が強まった。来期の見通しについては、料金価格はやや上昇が強まり、材料価格は今年同様の上昇傾向で推移する見込み。

### 資金繰り・借入金・設備投資動向

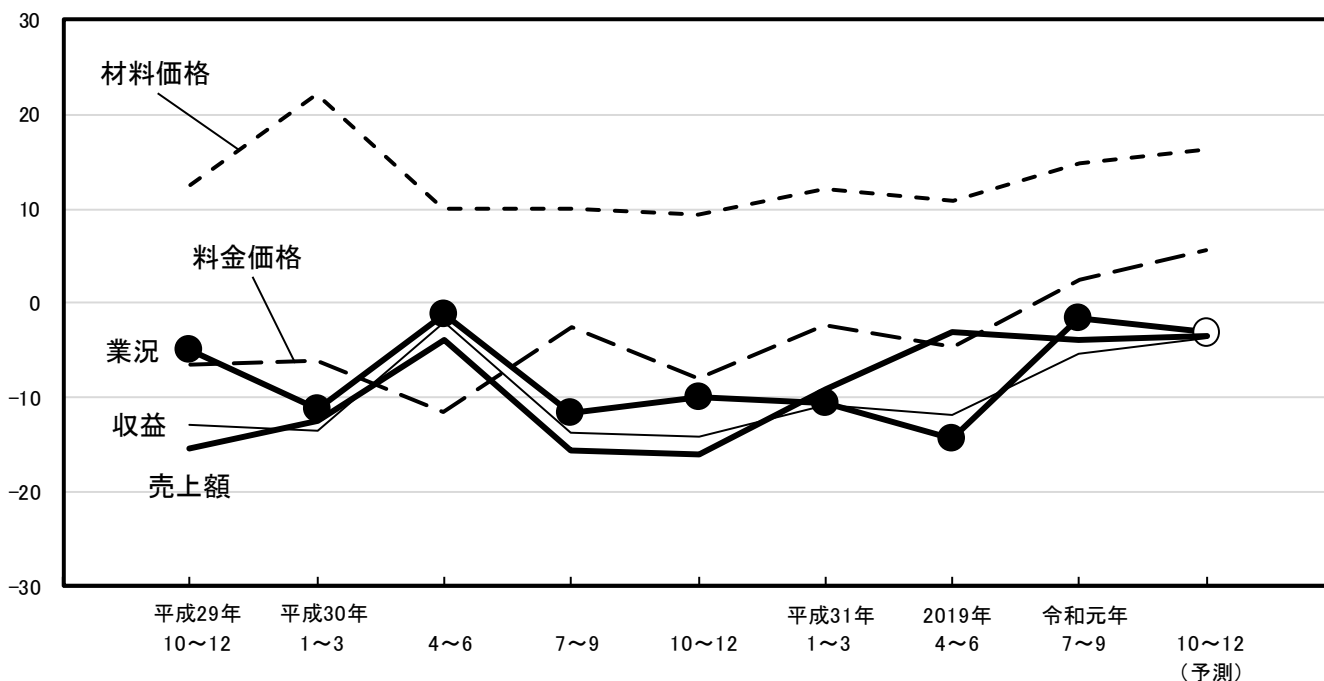
資金繰りは $\Delta 14.1$ で5.5ポイント減と大きく窮屈感が強まり、借入難易度は $\Delta 2.4$ で4.6ポイント増とやや厳しさが弱まった。借入をした企業は13.7%で1.9ポイント増加した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は24.0%で7.4ポイント減少した。来期の見通しについては、資金繰りはやや厳しさが弱まり、借入をする企業はやや減少し、設備投資を実施する企業は大きく減少する見込み。

### 経営上の問題点・重点経営施策

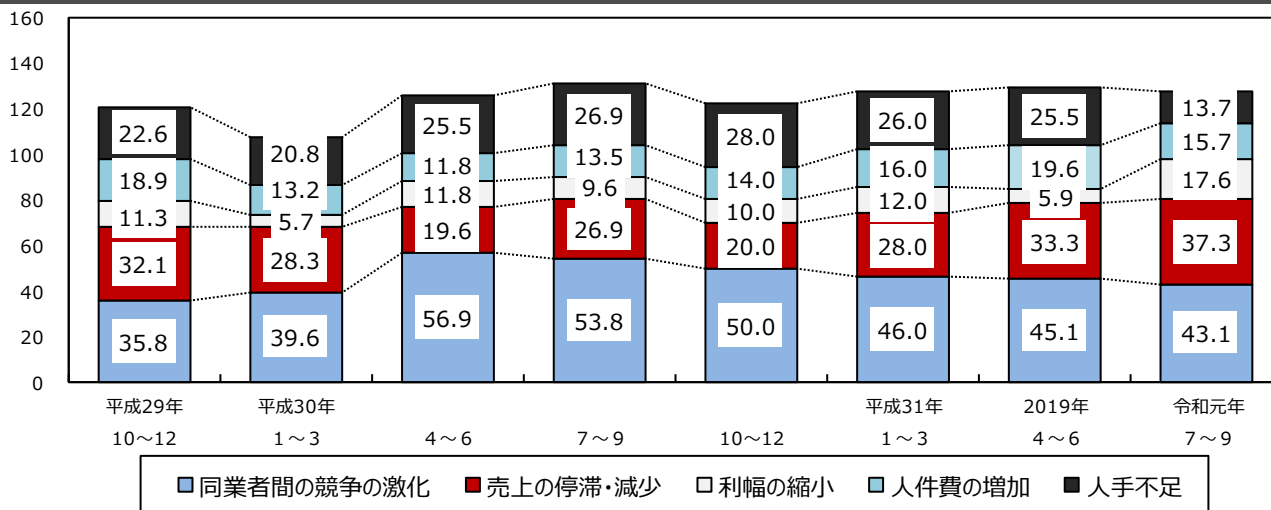
経営上の問題点は、1位は「同業者間の競争の激化」で43.1%となった。次いで2位は「売上の停滞・減少」で37.3%、3位は「利幅の縮小」で17.6%となった。以下、4位は「人件費の増加」で15.7%、5位は「人手不足」で13.7%と続いた。

重点経営施策では、1位は「経費を節減する」「販路を広げる」が同率で41.2%となった。次いで2位は「宣伝・広告を強化する」で27.5%、3位は「技術力を強化する」で13.7%となった。以下、4位は「人材を確保する」で11.8%、5位は「提携先を見つける」「教育訓練を強化する」が同率で9.8%と続いた。

## 業況と売上額、収益、料金価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測

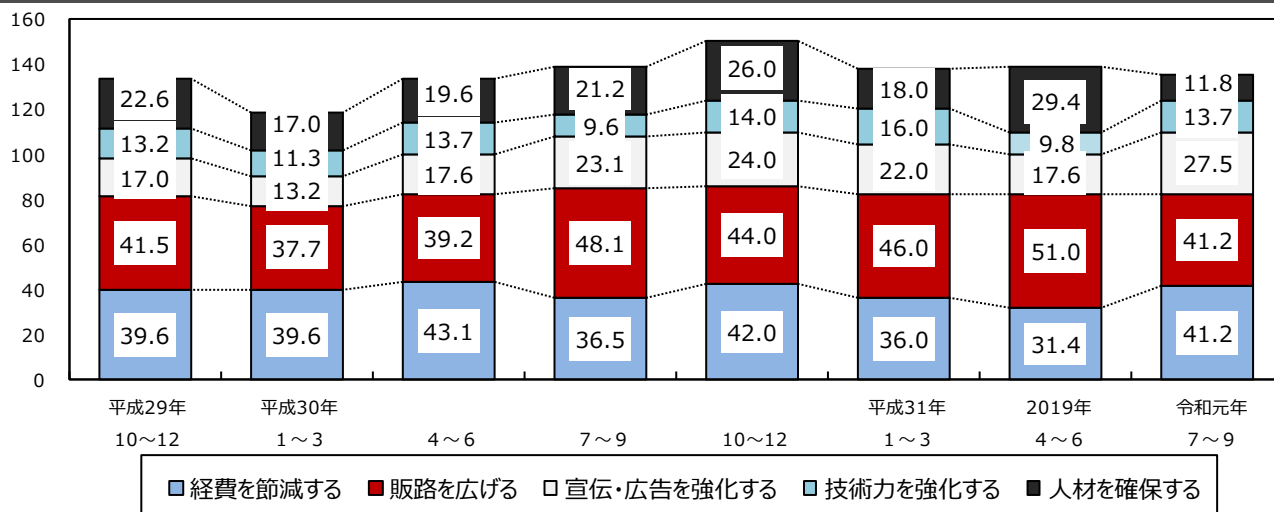


## サービス業 経営上の問題点（％）



	平成30年10~12月期	平成31年1~3月期	2019年4~6月期	令和元年7~9月期
第1位	同業者間の競争の激化 50.0 %	同業者間の競争の激化 46.0 %	同業者間の競争の激化 45.1 %	同業者間の競争の激化 43.1 %
第2位	人手不足 28.0 %	売上の停滞・減少 28.0 %	売上の停滞・減少 33.3 %	売上の停滞・減少 37.3 %
第3位	売上の停滞・減少 20.0 %	人手不足 26.0 %	人手不足 25.5 %	利幅の縮小 17.6 %
第4位	人件費の増加 14.0 %	人件費の増加 16.0 %	人件費の増加 19.6 %	人件費の増加 15.7 %
第5位	大企業との競争の激化 12.0 %	利幅の縮小 12.0 %	取引先の減少 13.7 %	人手不足 13.7 %

## サービス業 重点経営施策（％）



	平成30年10～12月期		平成31年1～3月期		2019年4～6月期		令和元年7～9月期	
第1位	販路を広げる	44.0 %	販路を広げる	46.0 %	販路を広げる	51.0 %	経費を節減する	41.2 %
							販路を広げる	41.2 %
第2位	経費を節減する	42.0 %	経費を節減する	36.0 %	経費を節減する	31.4 %	宣伝・広告を強化する	27.5 %
第3位	人材を確保する	26.0 %	宣伝・広告を強化する	22.0 %	人材を確保する	29.4 %	技術力を強化する	13.7 %
第4位	宣伝・広告を強化する	24.0 %	人材を確保する	18.0 %	宣伝・広告を強化する	17.6 %	人材を確保する	11.8 %
第5位	新しい事業を始める	14.0 %	技術力を強化する	16.0 %	新しい事業を始める	9.8 %	提携先を見つける	9.8 %
	技術力を強化する	14.0 %			技術力を強化する	9.8 %	教育訓練を強化する	9.8 %

## 建設業

### 業況・売上額・収益・受注残・施工高

建設業の主要指標をみると、業況は 22.1 で前期比 3.5 ポイント増とやや好調感が強まった。売上額は 20.4 で 2.4 ポイント減とやや増加幅が縮小し、受注残は 17.5 で 0.2 ポイント増と前期同様の増加幅で推移し、収益は 28.1 で 2.4 ポイント増とやや増益幅が拡大し、施工高は 18.6 で 6.7 ポイント減と大きく増加幅が縮小した。来期の見通しについては、業況はやや好調感が弱まる見込み。売上額、受注残、収益、施工高は大きく増加幅・増益幅が縮小する見通し。

### 価格・在庫動向

価格動向については、請負価格は 18.3 で 6.3 ポイント増と大きく上昇が強まり、材料価格は 36.7 で 2.1 ポイント増とやや上昇が強まった。在庫は 5.0 で 0.8 ポイント増と前期同様の過剰感が続いた。

来期の見通しについては、請負価格、材料価格は大きく上昇が弱まる見込み。在庫はやや過剰感が弱まり、適正範囲に転じる見通し。

### 資金繰り・借入金・設備投資動向

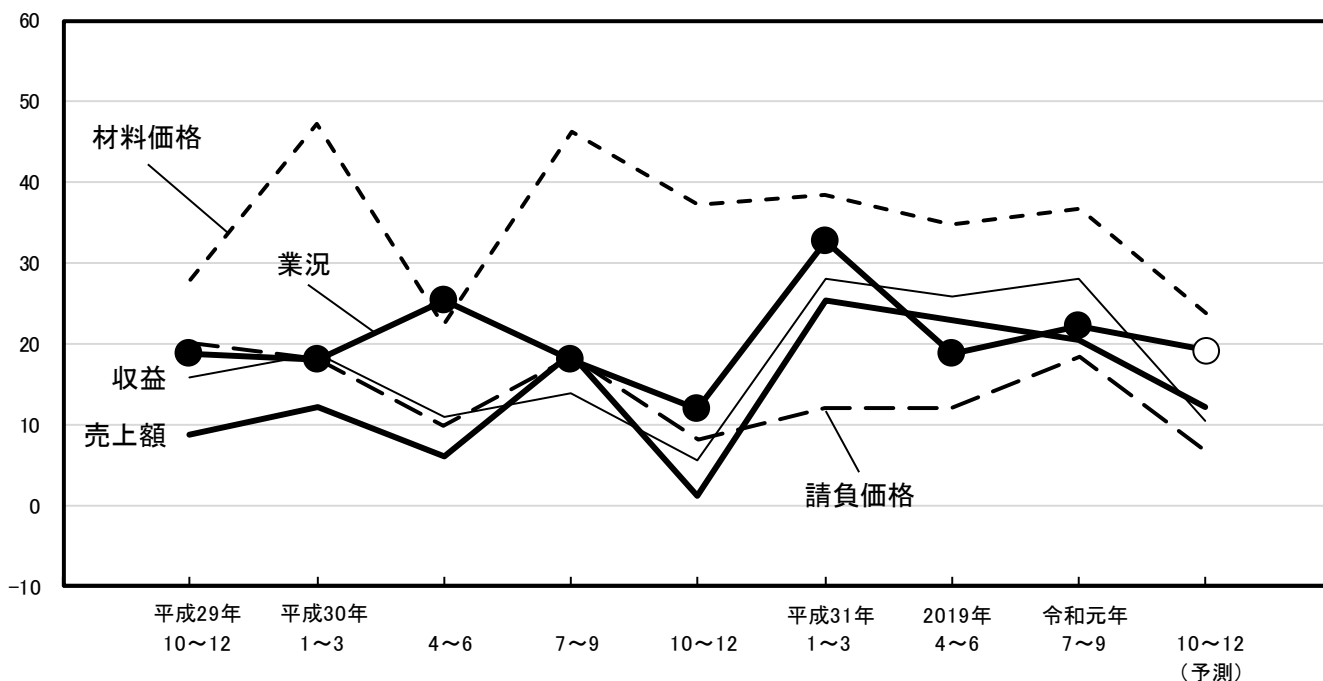
資金繰りは 17.8 で 3.2 ポイント増とやや容易さが強まり、借入難易度は 14.8 で 10.6 ポイント増と大きく容易さが強まった。借入をした企業は 12.9%と 9.7 ポイント増加した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は 23.3%と 3.9 ポイント増加した。来期の見通しについては、資金繰りはやや容易さが弱まる見込み。借入をする企業は今期同様の水準で、設備投資を実施する企業はやや減少する見通し。

### 経営上の問題点・重点経営施策

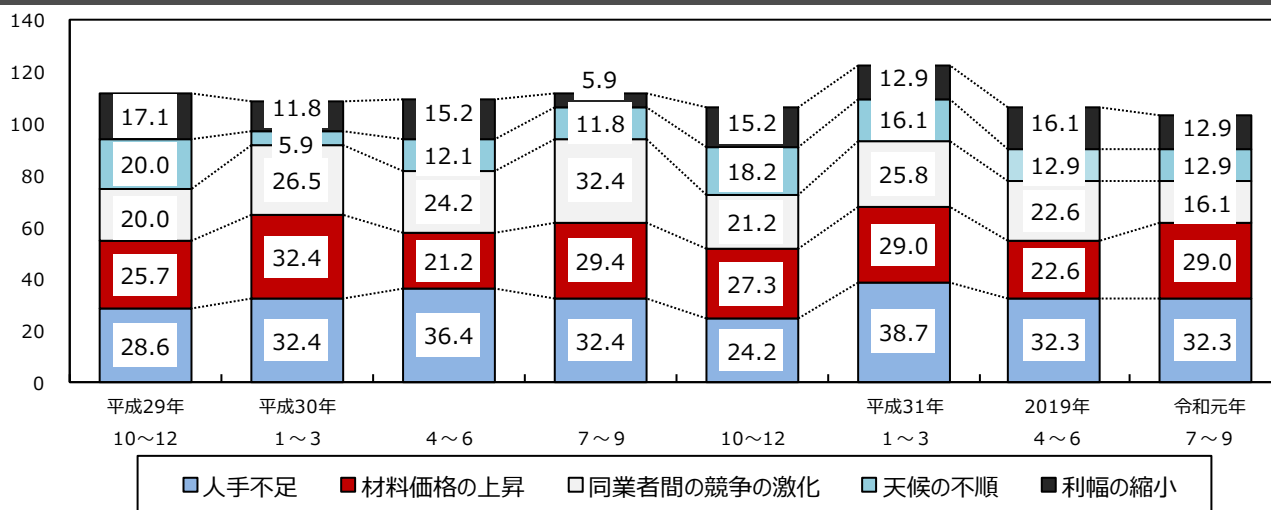
経営上の問題点は、1 位は「人手不足」で 32.3%となった。次いで 2 位は「材料価格の上昇」で 29.0%、3 位は「同業者間の競争の激化」で 16.1%となった。以下、4 位は「天候の不順」「利幅の縮小」「売上の停滞・減少」が同率で 12.9%、5 位は「大手企業との競争の激化」「下請の確保難」「人件費の増加」で 9.7%と続いた。

重点経営施策は、1 位は「経費を節減する」で 35.5%となった。次いで 2 位は「人材を確保する」「情報力を強化する」「販路を広げる」が同率で 32.3%、3 位は「技術力を高める」で 29.0%となった。以下、4 位は「新しい工法を導入する」で 6.5%、5 位は「教育訓練を強化する」で 3.2%と続いた。

## 業況と売上額、収益、請負価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測

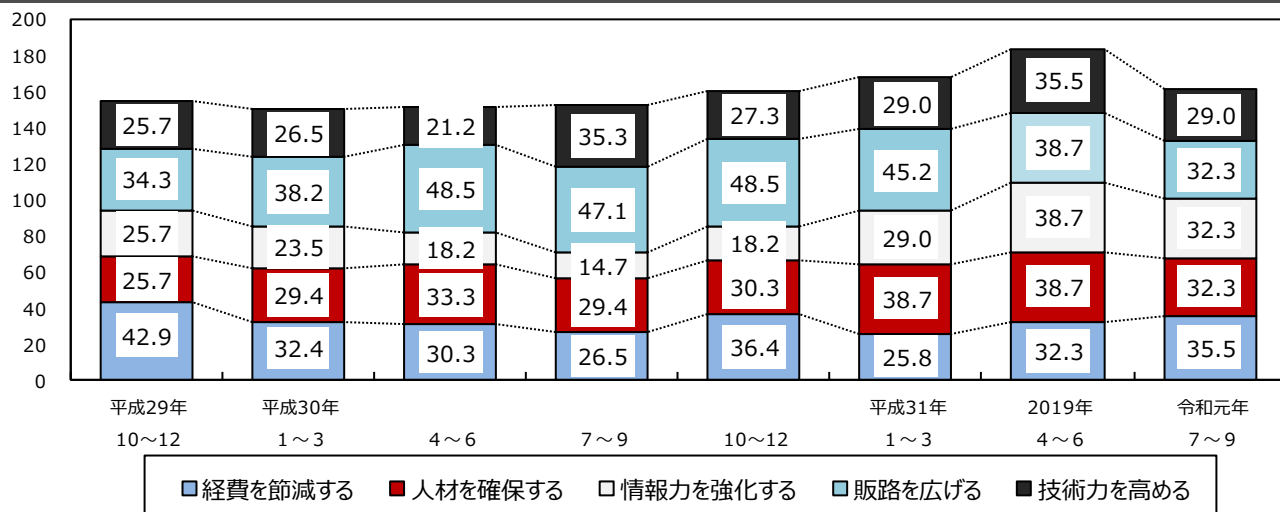


## 建設業 経営上の問題点（％）



	平成30年10~12月期		平成31年1~3月期		2019年4~6月期		令和元年7~9月期	
第1位	材料価格の上昇	27.3 %	人手不足	38.7 %	人手不足	32.3 %	人手不足	32.3 %
第2位	人手不足	24.2 %	材料価格の上昇	29.0 %	材料価格の上昇	22.6 %	材料価格の上昇	29.0 %
					同業者間の競争の激化	22.6 %		
第3位	同業者間の競争の激化	21.2 %	同業者間の競争の激化	25.8 %	下請の確保難	16.1 %	同業者間の競争の激化	16.1 %
	売上の停滞・減少	21.2 %			利幅の縮小	16.1 %		
	人件費の増加	21.2 %			売上の停滞・減少	16.1 %		
第4位	下請の確保難	18.2 %	天候の不順	16.1 %	天候の不順	12.9 %	天候の不順	12.9 %
	天候の不順	18.2 %	下請の確保難	16.1 %	大手企業との競争の激化	12.9 %	利幅の縮小	12.9 %
			人件費の増加	16.1 %			売上の停滞・減少	12.9 %
第5位	利幅の縮小	15.2 %	売上の停滞・減少	12.9 %	人件費の増加	9.7 %	大手企業との競争の激化	9.7 %
			利幅の縮小	12.9 %			下請の確保難	9.7 %
							人件費の増加	9.7 %

## 建設業 重点経営施策（％）



	平成30年10～12月期	平成31年1～3月期	2019年4～6月期	令和元年7～9月期
第1位	販路を広げる 48.5 %	販路を広げる 45.2 %	人材を確保する 38.7 % 情報力を強化する 38.7 % 販路を広げる 38.7 %	経費を節減する 35.5 %
第2位	経費を節減する 36.4 %	人材を確保する 38.7 %	技術力を高める 35.5 %	人材を確保する 32.3 % 情報力を強化する 32.3 % 販路を広げる 32.3 %
第3位	人材を確保する 30.3 %	情報力を強化する 29.0 % 技術力を高める 29.0 %	経費を節減する 32.3 %	技術力を高める 29.0 %
第4位	技術力を高める 27.3 %	経費を節減する 25.8 %	教育訓練を強化する 9.7 %	新しい工法を導入する 6.5 %
第5位	情報力を強化する 18.2 %	労働条件を改善する 6.5 %	不動産の有効活用を図る 3.2 % 労働条件を改善する 3.2 % 新しい工法を導入する 3.2 %	教育訓練を強化する 3.2 %